

キャラクター名 アルヴィナ・ケレート	プレイヤー名
-----------------------	--------

種族	人間	種族特徴	剣の加護/運命変転		
生まれ	冒険者	性別	女	年齢	16歳
冒険者Lv	15	経歴	物心ついたときには一人だった		
経験点	2500		大切な約束をしている まだ恋をしたことがない		

技	8	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	6	14		28	4	ソーサラー	4	ミスティック	12
体	5	敏捷度	5	10		23	3	コンジャラー	4		
		筋力	8	1		14	2	プリースト/シーン	15		
心	11	生命力	7	18		30	5	レンジャー	9		
		知力	12	28		51 + 1	8	セージ	9		
		精神力	9	23		43	7	エンハンサー	5		

戦闘特技				言語			会話	読文
ルーンマスター	IB34 p	鷹の目	IB30 p	交易共通語		○	○	
治癒適正	2122 p	クリティカルキャスト	IB36 p	神紀文明語			○	
不屈	2123 p	魔晶石の達人	IB32 p	ドラゴン語		○		
ポーションマスター	2123 p	ダブルキャスト	IB37 p	ドレイク語		○		
鋭い目	2120 p			汎用蛮族語		○	○	
弱点看破	2121 p			魔神語		○		
マナセーブ	2123 p			魔動機文明語		○	○	
魔法拡大/数	226 p			魔法文明語		○	○	
魔法誘導	223 p			ミアキス語		○		
魔法拡大/時間	227 p							
MP軽減/プリースト	IB33 p							

練技/呪歌/騎芸/賦術	
アンチボディ	【賢星に語るべかりし言葉を問う】
ストロングブラッド	【崩れる壁の幻】
メディテーション	【凶星の光を避ける道を知る】
スケイルレギンス	【黒き死の幻影】
スフィンクスノレッジ	【灰色なる敗北の幻影】
軍師の知略	【無色なる不備の幻影】
堅陣の構え	
強靱なる丈陣 II	
【幸運は知恵を助ける】	
【幸運の星の導きを知る】	
【幸運は勝ち戦を授ける】	
【幸運は富をもたらす】	
【背後から迫る闇の幻】	
【襲い掛かる敵の幻】	

技能	基本レベル	基本命中力	基本回避力	基本ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾	必要ランク	筋力	回避力	防護点
鎧		1		8
盾				
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				
回避技能		合計値	0	8

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ナイフ 発動体化	1H投	1		2d+ 0	10	0	1										
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP	魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
3 m	23 m	69 m	2d+ 0	8	75	真語魔法	4	12			
						操霊魔法	4	12			
						深智魔法	4	12			
						神聖魔法	15	23			

装備品	説明	装備品	説明
頭 専用女神のヴェール	回復魔法でクリティカルするようになる。MMP+2		
耳 イヤリング	水色の石がついたもの。アルフからのプレゼント		
顔 紅の眼鏡	眠りへの抵抗に失敗した時HP消費で成功に		
首 専用祈りのアミュレット	回復量+1。MHP+2		
背中 野伏の満月のマント			
右手 正しき信念のリング	精神抵抗+2。		
腰 不撓のバックル			
足 ディスプレイサーガジェット	血水晶のチャーカー		
その他	知性の指輪		

<p>— その他メモ —</p> <p>9歳の頃、スラムで襲われているところをシーンの神官に助けられ、拾われた。それ以前はスラムに住んでおり、物心がついたときには一人だったことから、親に捨てられたのだと考えている。</p> <p>だがそれは本人の中の記憶。実際には、7歳の頃に強盗に遭い、自分以外の家族が目の前で惨殺されている。アルヴィナ自身は誘拐され、奴隷として売られるはずだったが、ショックで錯乱し、何も出来なくなったために価値がないと判断されてスラムに捨てられた。ゆえにその時の記憶は失っている。そして自分は捨てられたのだと思うことで自我を保っている。</p> <p>凄惨な光景を見た場合、頭痛がし、家族が殺される光景がうっすらと思い出されてしまう。</p> <p>母親が死の直前、「生きて。血を途絶えさせてはダメ」と言い残しており、無意識にそれを覚えている。</p> <p>そのため、理由は分からないが生き延びなければならない、と考えている。理由について考え出すと頭が痛む。</p>	<p>自動失敗</p> <p>チェック</p> <p>□□□□⑤</p> <p>□□□□⑩</p> <p>□□□□⑱</p> <p>□□□□㉔</p> <p>□□□□㉙</p> <p>□□□□㉚</p> <p>□□□□㉛</p>
---	--

